



そよ風



知りたいな 手術室のこと

～手術前に病室まで伺います(看護師の術前訪問)～



病院4階にある手術室では、年間約7300件の多様な手術が行われています。さらに、大阪市の三次救急医療施設としての重症救急患者様の緊急手術にいつでも対応出来る体制を整えています。

手術室は14室、室内は明るく、モスグリーンの壁で落ち着いた雰囲気、耳を澄ませばクラシック系の音楽が聞こえてきます。室内には最新の設備を整え、最高の環境を提供しています。また、手術室は清潔な空気を循環させているため少し寒いかもしれませんが、温かい掛け物などで調節しています。

手術室では、手術を受けられる患者様から事前に、「手術室のことを知りたい。」「自分のことを知ってもらいたい。」などのご希望があれば、看護師が術前に病室までうかがっています。そして、手術室看護師ができる限り患者様の気持ちに寄り添い、少しでもリラックスした状態で手術を受けられるよう、お話を伺い、質問に答えています。どうぞ遠慮なく術前の訪問希望を看護師にお伝えください。「手術室の看護師に会っておきたい」それだけでも大歓迎です。また、新しい取り組みとして「ベッドや車いすでの手術室移動で手術の前から重病人のようにされたくない。」という患者様の声を反映し、手術室へ歩いて入室して頂く事に取り組んでいます。そして、麻酔科医師、担当看護師がそろって出迎え、自己紹介をするなど緊張を和らげるような対応に努めています。

手術中は手術器材を渡す看護師と、患者様の状態を見守る看護師の2名1組で看護にあたります。また、患者様が手術を安全に受けていただくために、麻酔医、看護師、臨床工学技師、手術担当医師が一丸となり、知識技術の向上につとめています。



手術室内の様子



手術室廊下



手術室看護師です。

理念

私たちは、医学部建学の精神である「智・仁・勇」に基づき市民の健康に寄与する質の高い医療を提供します
こころ豊かで信頼される医療人を育成します
医療の進歩にたゆまぬ努力を続けます

(大学病院のめざすところ) 基本方針

- ・患者本位の安全で質の高い医療を提供します
- ・地域医療の向上に寄与します
- ・健康・予防医学を推進します
- ・最新の高度医療を提供します
- ・人間味豊かな優れた医療人を育成します
- ・新しい診断法・治療法・予防医学の開発を行います
- ・質の高い多彩な研究を推進します

参加条件(すべてに当てはまる方)

- 20歳以上70歳未満の方。
- 血糖値がやや高めの方。(詳しくは個別にお問い合わせください)
- BMIが18.5～30の方。
- 糖尿病、肝疾患、腎疾患、心疾患などの重篤な疾患の既往歴、現病歴のない方。
- 10分以内に米飯(おにぎり3個程度)を完食できる方。
- 来院日 6月22日(日)、7月13日(日)
7月27日(日)、8月10日(日)

試験責任医師の判断や、その他健康診断の結果によって、試験に参加いただけない場合がありますのでご了承下さい。

腕の血管からの採血が困難な方や採血時にめまいや気分不良の症状が現れた経験のある方はご参加いただけません。



ベータグルカンを含んだ食品を来院時に摂取していただき、食事の後に上昇する血糖値が押さえられるかどうかを調べる食品効能試験の協力者を募集しています。



血糖値が高めの方を募集しています!

募集締め切り
定員(60名程度)になり次第(6月6日頃予定)

0120(238)5000

受付時間 平日9時～17時

大阪市立大学医学部附属病院
医薬品・食品効能評価センター

食品試験に関心をお持ちの方は、お気軽にお問い合わせ、お申込み下さい。
今回の協力期間は7週間程度です。

生活習慣病・糖尿病センター

代謝内分泌病態内科学(生活習慣病・糖尿病センター)
講師 絵本正憲

生活習慣病・糖尿病センターは、糖尿病(血糖値の異常)を中心に、高脂血症(コレステロールや中性脂肪などの異常)、肥満症、高血圧症および関連する合併症の診療を担当しています。最近話題の『メタボリックシンドローム』も、これらの病状が重なったものといえ、健診などでその異常を指摘されて受診される方が増えています。

糖尿病は、予備軍もあわせて日本では約1430万人と推計されるポピュラーな病気ですが、国内の専門医は約4000名と少ないのが現状です。当センターでは、10名の糖尿病専門医、糖尿病認定看護師、糖尿病療養指導士のコメディカルスタッフを中心に、専門的な経口薬治療やインスリン療法とともに、入院教育プログラム『糖尿病大学』による療養指導や個々の病状にあわせた『運動処方指導』にも力を入れています。

糖尿病やこれらの生活習慣病は、失明、腎不全、心筋梗塞や脳卒中などの恐ろしい合併症につながります。その予防・治療として、血管エコーや脈波速度などの最新装置による動脈硬化の早期診断と治療対策をおこなっています。

一方、高度に進行した閉塞性動脈硬化症(下肢の動脈閉塞による皮膚潰瘍やえそなど)に対しては、『骨髄単核細胞移植』(高度先進医療のひとつ)や『末梢血細胞移植』を積極的におこなっています。腎臓合併症が進行すると、診療担当が糖尿病専門医から腎臓・透析専門医へ移ることが一般的ですが、当センターでは、人工腎部門の協力をえて専門診療を一貫しておこない、早期の腎症から進行した腎不全・透析療法導入まで『腎臓合併症のトータルケア』を実践しています。

診療ご希望の場合は、できる限り『紹介状持参』のうえ、月曜から金曜日の午前9時



生活習慣病・糖尿病センター 外来担当医

から10時30分に初診で診察申込をしていただきますと、スムーズに受診していただけます。また、病状悪化時の『かかりつけ医』との併診や紹介入院も積極的に勧めています。治療後に病状が安定した場合は、『かかりつけ医』での通院治療を安心しておこなえますのでご相談ください。

患者様の権利

- ・安全で質の高い医療を受ける権利があります
- ・自由意志に基づき治療を選択する権利があります
- ・十分な説明と情報提供を受ける権利があります
- ・セカンドオピニオンを希望される場合は、紹介を受ける権利があります
- ・人の尊厳を尊重した医療を受ける権利があります
- ・医療に関する個人情報やプライバシーが保護される権利があります
- ・健康教育を受ける権利があります

患者の皆様へのお願い

- ・あなたの健康に関する情報は、できる限り正確にお伝えください
- ・病院スタッフの説明がわかりにくい場合は、納得できるまでお聞きください
- ・診療上必要な指示や助言は、お守りください
- ・他の患者様の権利を尊重し、迷惑がかかることのないようご配慮をお願いします
- ・治験・臨床試験に、ご協力をお願いします
- ・大学病院の責務である医療人の育成と研究に、ご理解とご協力をお願いします



病院ボランティアを募集しています！！

◆活動内容◆

- ・外来を中心とした患者さまへの院内案内
- ・車椅子をお使いの患者さまやお身体の不自由な患者さまの移動介助
- ・その他

◆お問合せ先◆

〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1-5-7
大阪市立大学医学部附属病院
ボランティアルーム
電話:06-6645-2694
FAX:06-6645-2694
E-mail:volunteer@med.osaka-cu.ac.jp
★外来でオリジナルエプロンを着用しているスタッフにお声掛けください。



集団指導の様子

大阪市立大学医学部附属病院の概要

所在地 〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号 初診受付時間 午前9時～午前10時30分
電話 (06)6645-2121(代表) 休診日 土・日・祝日、12月29日～1月3日

診療科

総合診療センター、循環器内科、呼吸器内科、膠原病内科、生活習慣病・糖尿病センター、腎臓内科、骨・リウマチ内科、消化器内科、肝胆膵内科、小児科・新生児科、神経精神科、皮膚科、放射線科、放射線治療科、核医学科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、肝胆膵外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科、女性診療科(産婦人科)、眼科、耳鼻いんこう科、麻酔科・ペインクリニック科、形成外科、血液内科・造血細胞移植科、老年科、神経内科

※本院は、専門医療を中心に医療を提供していますので、受診するには原則、診療情報提供書(紹介状)が必要です。

ただし、早期発見・早期治療の観点から一部の診療科では紹介状がなくても受診は可能です。

その場合は初診料とは別に2,620円(助産は2,500円)をお支払いいただきます。

